

浜地克徳スケッチ活動 20周年記念展

あの日の風景と、スケッチ旅

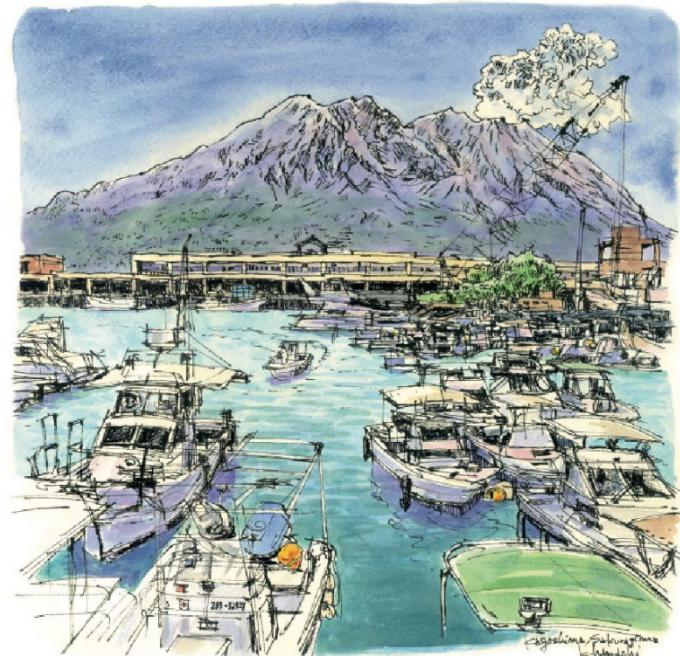
感動の思いを勢いのまま現場で描くスケッチを続けて20年。
そのあゆみとこれから。

移りゆく鹿児島を見つめて

都会の経済優先の生き方に疑問を感じ、鹿児島県南薩で農業を始めた浜地克徳。その後、姶良市蒲生町へ移り農的生活を支点としつつ目で見た感動をそのまま画面に写しとるスケッチを2005年に開始。鹿児島を中心に国内外のスケッチ取材をおこなってきた。



2013年に描いた西駅市場。その後すぐ取り壊された。



2011年に描いた魚類市場。今は新しい建物となっている。

- 会期：2026年1月10日(土)-18日(日)
- 時間：11時～18時 会期中無休
- 入場料：無料
- 会場：マルヤガーデンズ 4F ユナイトメントガーデン
- 主催団体：浜地克徳スケッチ活動20周年記念展実行委員会
- 後援：マルヤガーデンズ、特定非営利活動法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会・一般社団法人タツの子会、ミニー・メイ法律事務所、ブネウマはりきゅう療院、Bepop デザイン事務所
- 作品点数：約70点
- 内容：スケッチ画家“浜地克徳”の絵画作品の展示・販売

「記録」という性質をもつスケッチ作品は同時に鹿児島の移りゆく姿も捉えていく。鹿児島が誇る桜島や老舗の商店、繁華街などの情景も、スケッチした後に取り壊されたり、なくなっていたりする。そんな移りゆく街の記憶も作品として残していく。今回の展示ではスケッチ活動のあゆみとこれからを7つのテーマで展開。スケッチという技法の魅力とともに鹿児島や各内外の街や暮らしの中から見える風景の中から感じ取れる「味わい」を共有する試みとなります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社丸屋本社 マルヤガーデンズ事業部 頬川(えがわ) tel: 099-813-8108

もしくは 浜地 克徳 tel: 090-9720-3324

浜地克徳スケッチ活動 20 周年記念展 「あの日の風景と、スケッチ旅」

テーマ別構成

「スケッチと街の魅力を巡る旅」

年代を横断してテーマごとに作品を紹介する構成です。

作家の関心の幅やモチーフへの向き合い方を多角的に感じていただけます。

7つのテーマ

第1章：日常の風景があるがままに（鹿児島の風景・街角スケッチ）

日常の風景や街角を切り取った作品群。初期の頃のスケッチと現在のスケッチを同時に展示し、画材や線の変化なども楽しめる。移りゆく鹿児島の姿も共有する。

第2章：料理とお酒と人情と（まちの飲食店スケッチ）

人々が集う場の温かさを描いた作品。人間味あふれる情景が魅力。飲み屋やカフェなど。

第3章：新たな感動を求めて（ヨーロッパスケッチ）

旅で出会った風景を通して、異文化から受けた刺激を感じる作品群。

第4章：異国への思いを馳せて（お酒ボトルと料理スケッチ）

コロナ禍に描かれた、酒瓶や料理という身近な題材に異国への想いを託したシリーズ。

第5章：感動の鮮度を求めて（ブルースケッチ）

青の世界で描かれる風景との対話。地元蒲生の美しさを感動の瞬間をそのままスケッチする。

第6章：人間は美しい（ポートレートスケッチ）

人物の表情や姿を描き、そこに宿る人の美しさを表現。リハビリスケッチのエピソードなど。

第7章：依頼から生まれたスケッチ（依頼スケッチ／印刷物）

「天文館物語」「オーガニック」「高浜蒲鉾 やまきち便り」「Region」など、依頼を受けて制作した作品群を紹介します。印刷物を中心に展示し、スケッチが地域の生活の中で生きていることを伝える。